



UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific
世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センター

2014年12月22日

国連世界観光機関（UNWTO）

世界観光指標（World Tourism Barometer）2014年12月号

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、UNWTO本部での準備完了次第、

下記リンクにて抄録（無償）及び

全文（有償）をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

PR No.: PR 14071

マドリッド

2014年12月18日

2014年の国際観光客到着数は過去最高と順調に終える

2014年の国際観光客到着数は、過去最高となり11億人を超える見通しである。最新の国連世界観光機関（UNWTO）世界観光指標によると、2014年10月までの到着数は対前年比5%増加となり、予測を上回った。

2014年1月から10月までの国際観光客到着数（宿泊者）は、2013年の同期比で4,500万人増加し9億7,800万人に達した。国際観光客到着数は着実に成長を続け、4.7%増となり、UNWTOの2010年～2020年長期予測(3.8%増)を上回り2014年は11億人以上で締めくくられる。

地域別では、米州（8%増）が最も力強く伸び、これにアジア・太平洋（5%増）及びヨーロッパ（4%増）が続いた。準地域別では北アメリカ（9%増）及び南アジア（8%増）が著しく成長し、南・地中海ヨーロッパ及び北東アジア、ヨーロッパ（全て7%増）も順調に増加した。

「これらの動向は、2014年の国際観光客到着数は記録的な数を示している」とUNWTO タレブ・リファイ事務局長は述べ、「世界的景気回復はやや不安定でばらつきがあるなかで世界の様々な地域が、地政学的及び保健面で大きな困難に直面していることを考慮にいと、これらの結果は注目すべきものである。」と続けた。

「さらに重要なのは、多くの国々において観光部門に対する政治的関与の拡大が見られることである。このことには、現在観光が雇用を創出する最も切望される部門の一つであること意味しており、とても勇気づけられる。」と述べた。

米州：過去10年間で最高の結果に

米州（8%増）は2014年1月から10月までの間における成長を牽引し、昨年の控えめな結果から大きく回復を見せた。同地域は2003年の重症急性呼吸器症候群(SARS)発生後の力強い回復を見せた2004年以来の快挙である。北アメリカ、カリブ海、中央アメリカ、南アメリカの全て

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific

Silkia Nara 2F, 8-1, Sanjo-honmachi, Nara 630-8122 Japan
TEL +81(742)30-3880 FAX +81(742)30-3883

の準地域が 2013 年の 2 倍の成長率を見せ、その中でもメキシコ及び米国で特に著しい成果が見られた北アメリカが好調となった。

アジア・太平洋における国際観光客到着数は 5%増（10 月迄）となり、同地域における近年の成長動向を堅固なものにした。最高の結果はインド（7%増）に牽引された南アジア（8%増）及び、日本や韓国のような主要なデスティネーションが二桁成長をみせた北東アジア（7%増）であった。オセアニアの到着数は主にオーストラリア及びニュージーランドの増加により、6%増となった。東南アジア（2%増）の成長率は、タイにおける到着数の減少により、2012 年及び 2013 年と比較し鈍化した。

世界で最も到着数が多い地域であるヨーロッパは、北ヨーロッパ及びギリシャ、ポルトガル、スペイン及びマルタのような成熟したデスティネーションをもつ南・地中海ヨーロッパ（共に 7%増）に牽引され、10 月迄の国際観光客到着数は 4%増となった。西ヨーロッパ（2%増）の国際観光客到着数は緩やかなペースでの成長となり、中央・東ヨーロッパ（0%）は横ばいとなり、年間平均 8%増を示した過去 3 年間とは対照的な結果となった。

中東の国際観光客到着数は 2011 年から続く減少を回復させ 4%増（2014 年 1 月から 10 月まで）と見込まれている。入手したデータによると全てのデスティネーションで増加が見られ、エジプト、ヨルダン、レバノン及びサウジアラビアにおいて 2013 年の実績を大きく上回った。

アフリカの国際観光客到着数は北アフリカが順調に回復（2%増）し、3%増（10 月迄）となった。サハラ以南地域の到着数は西アフリカの数国におけるエボラ出血熱による困難にも関わらず 3%増となった。アフリカ及び中東からのデータは現状では限定的で不安定なデータを基にしており取扱いには注意を要する。

UNWTO は 2015 年 1 月 27 日までに 2014 年通年の国際観光客到着数暫定値を発表することを予定している。

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」) とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UNWTO) アジア太平洋センターについて

UNWTO は、1975 年 1 月に観光に関する国際機関として設立され、2003 年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO アジア太平洋センターは、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995 年に設立され、2012 年 12 月に奈良へ移転しました。同センターではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

(お問い合わせ先)

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)
担当：藤永、藤井、吉田
電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883
E-mail: info@unwto-aptec.org